

建具情報の更新と再作成の違い（建具部材指定を使用しない場合）

文書管理番号：1139-02

Q. 質問

建具表で分割した建具をまとめたい。

プラン図で追加した建具を、作成済みの建具表に追加・反映させたい。

建具表で行う「建具情報更新」と「建具情報再作成」は何が違うのか。

A. 回答

建具表を実行後、プラン図で建具に関する内容に変更があった場合、変更内容を建具表に反映させるには「建具情報更新」または「建具情報再作成」を行う必要があります。

「建具情報更新」と「建具情報再作成」には、以下のような違いがあります。

- **建具情報更新**

建具表を起動中に、プラン図で建具を追加・削除した場合、建具分割などの編集内容を保持したまま、建具項目・建具キーを追加します。

建具表の画面を閉じ、開き直した場合も、自動的に更新がかかります。

- **建具情報再作成**

初期設定に基づき、建具表が再作成されます。建具分割など編集した設定内容が、すべて初期化されます。

プラン図や建具表での編集内容によって、「建具情報更新」または「建具情報再作成」のいずれかを選択します。

【注意】

ここでの建具入力、建具部材指定を使用しない方法で行います。



(物件概要)で、画面左下のボタンをクリックして 3/4 ページ目「建物仕様」パネルを表示し、「建具部材指定」のチェックを外して建具の入力を行ってください。

建具部材指定を使用して建具入力を行っている場合は、こちらをご覧ください。

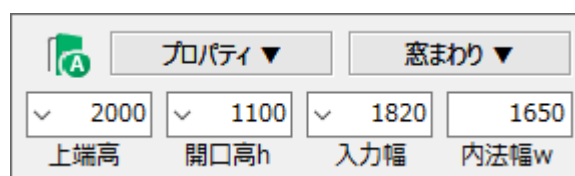
[\[1209\] 建具情報の更新と再作成の違い（建具部材指定を使用する場合）](#)

事例の前提条件

- 建具表の画面を閉じ、再度開き直すと、自動的に「建具情報更新」がかかります。
そのため、ここでは建具表を開いたまま、「建具情報更新」または「建具情報再作成」を実行することを前提として説明します。
- 説明時に「同じ内容の引き違い」とある場合は、以下のような建具を使用します。

● 建具サイズ

- ・ 上端高 2000mm
- ・ 開口高 h 1100mm
- ・ 入力幅 1820mm
- ・ 内法幅 w 1650mm



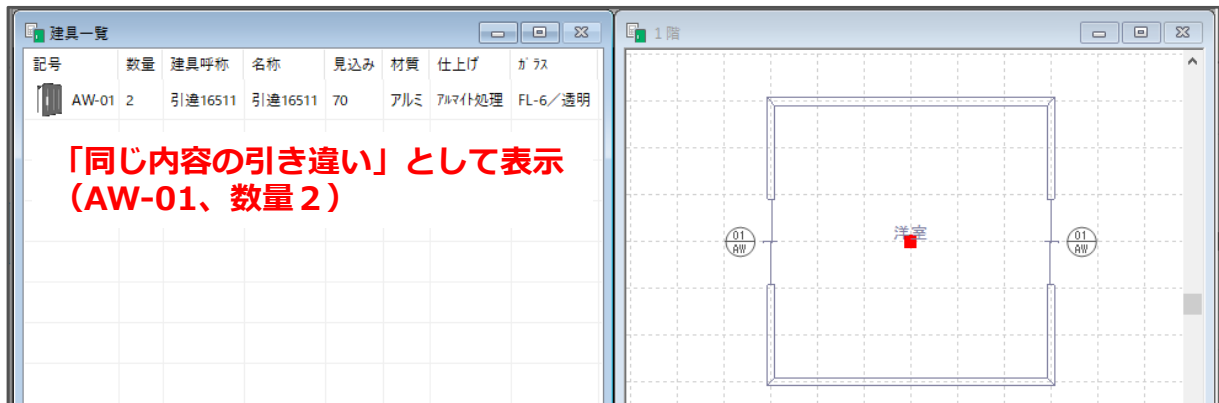
● 建具設定内容

- ・ 建具名称 引き違い
- ・ 枚数 2枚
- ・ 面材 サッシ
- ・ メーカー オリジナル
- ・ 柄名 サッシ
- ・ 枠形状 四方
- ・ 枠種類 額縁
- ・ ガラス仕様 FL-6
- ・ ガラス種類 透明
- ・ 防火表示の対象に設定する チェックなし

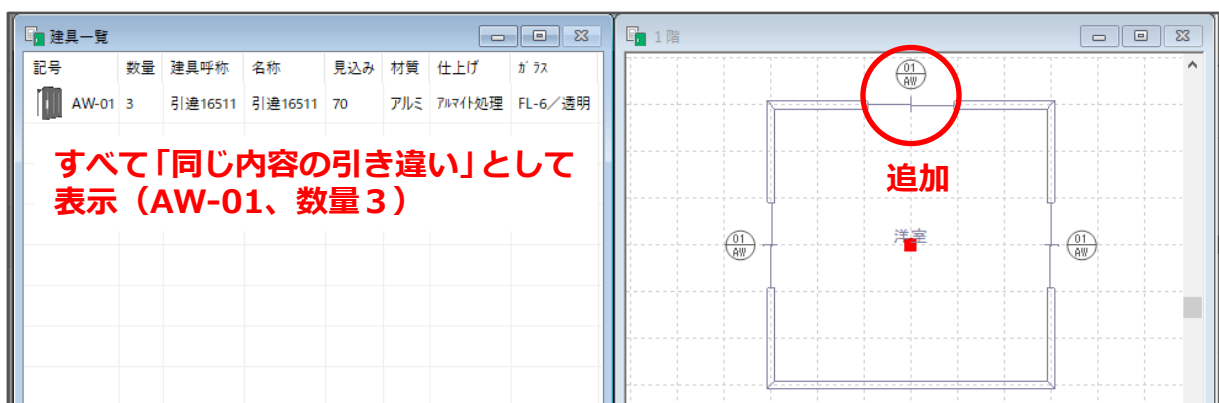
建具名称	引き違い	▼
枚数	2枚	▼
面材	サッシ	▼
メーカー	オリジナル	▼
柄名	サッシ	▼
枠形状	四方	▼
枠種類	額縁	▼
ガラス仕様	FL-6	▼
ガラス種類	透明	▼
<input type="checkbox"/> 防火表示の対象に設定する		

事例①：同じ建具を追加する場合

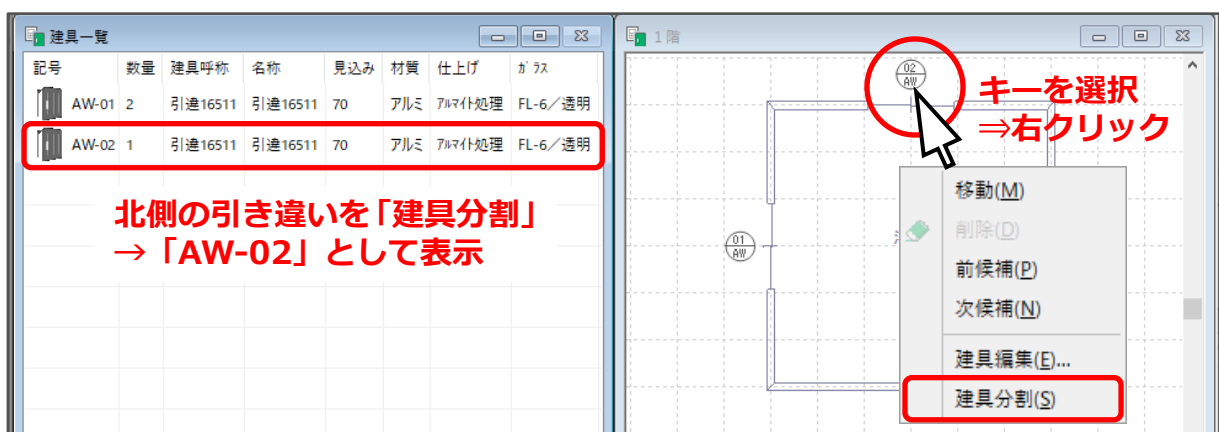
- ① (プラン図)で「同じ内容の引き違い」を2か所に配置し、 (建具表)を起動



- ② (プラン図)で「同じ内容の引き違い」をもう1か所に配置し、 (建具表)を確認
- * 今回の条件では、「建具情報更新」、「建具情報再作成」のどちらを実行しても、同じ結果になります。



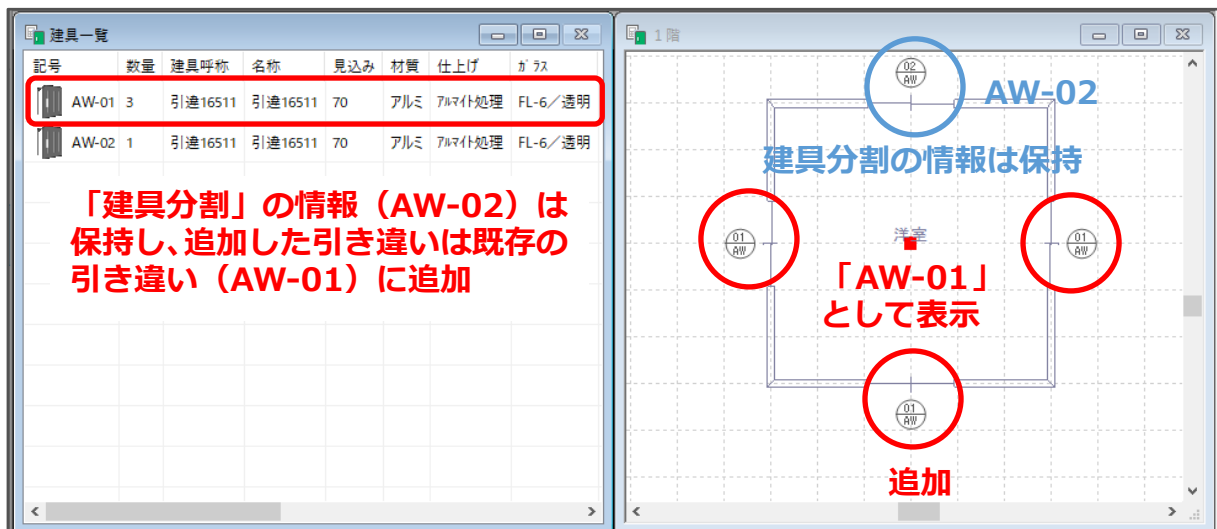
- ③ (建具表)で引き違いの1つを、「建具分割」により番号を分ける
- * ここでは、キープラン図上で北側の引き違いのキーを選択し、右クリックメニューの「建具分割」をクリックします。



- * 北側の引き違いが、建具記号「AW-02」として分かれて表示されます。

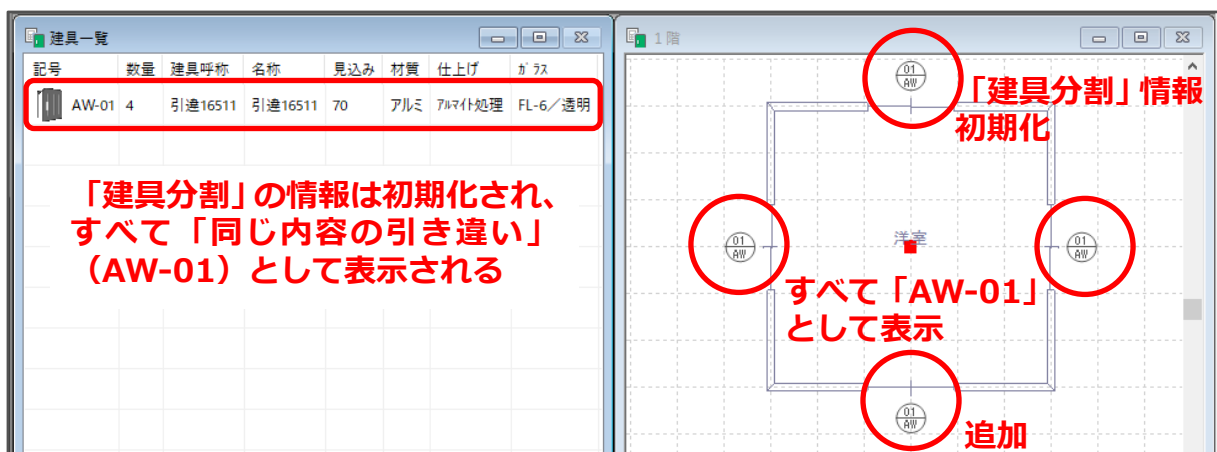
④ (プラン図)で「同じ内容の引き違い」を更に1か所追加し、 (建具表)を確認

● 建具情報更新を実行した場合



* P.3 操作③で建具分割した「AW-02」の内容は保持し、追加した引き違いは既存の「AW-01」として追加されます。

● 建具情報再作成を実行した場合



* P.3 操作③で建具分割した情報は初期化され、すべて「AW-01」として表示されます。

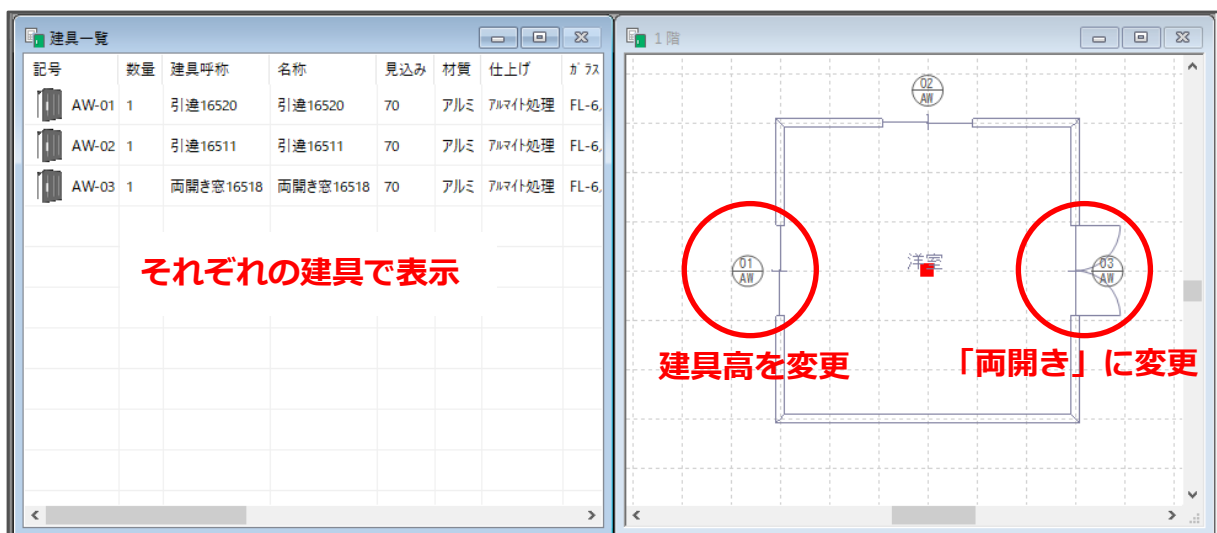
【参考】

建具表でまとめて表示されている建具を、「建具分割」を利用して、それぞれの建具ごとに分ける方法については、こちらをご覧ください。

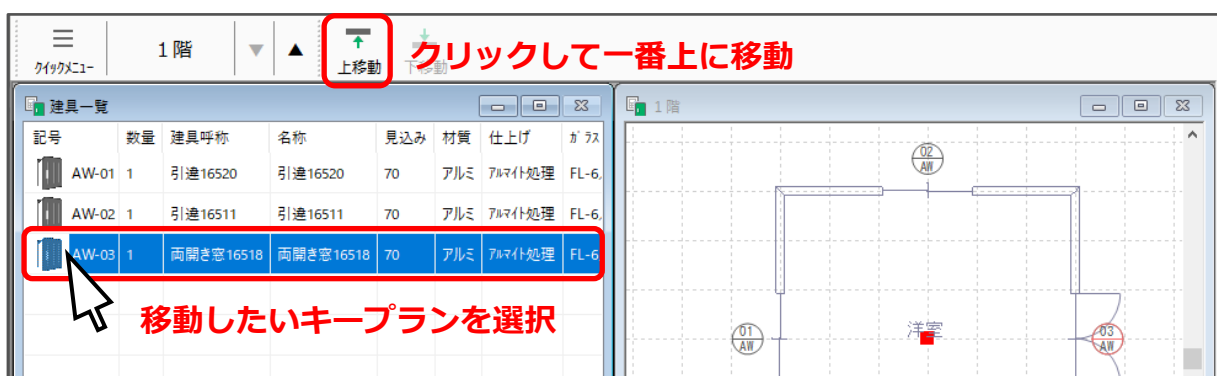
[\[1138\] 建具表での同一建具の分割方法](#)

事例②：配置済み建具の建具タイプ・建具サイズを変更した場合

- ① (プラン図)で「同じ内容の引き違い」を3か所に配置し、 (建具表)を起動
 - * すべて同じ建具 (AW-01、数量 3) として表示されます。
- ② 3か所の引き違いのうち、2つをそれぞれ変更
 - * 1つをプラン図の建具タイプ変更から「両開き」に、もう1つは建具高を「1100mm」から「2000mm」に変更します。
- ③ (建具表)を確認
 - * 今回の条件では、「建具情報更新」、「建具情報再作成」のどちらを実行しても、同じ結果になります。



- ④ 建具一覧から、「AW-03」を選択し、 (上移動)で一番上に移動



- * 建具記号の番号が「AW-03」から「AW-01」になり、「AW-01」は「AW-02」に、「AW-02」は「AW-03」に変更されます。
(AW-01：両開き、AW-02：建具高 2000mm の引き違い、AW-03：既存の引き違い)
- * 建具の入力順により、建具一覧に表示される順番は異なります。

- ⑤ (プラン図)で、変更後の「AW-02」(建具高 2000mm の引き違い)と同じ設定の引き違いを1か所追加し、 (建具表)を確認

● 「建具情報更新」を実行した場合

記号	数量	建具呼称	名称	見込み	材質	仕上げ	ガラス
AW-01	1	両開き窓16518	両開き窓16518	70	アルミ	7ルマイト処理	FL-6
AW-02	2	引違16520	引違16520	70	アルミ	7ルマイト処理	FL-6
AW-03	1	引違16511	引違16511	70	アルミ	7ルマイト処理	FL-6

**追加した引き違いは「同じ内容の引き違い」(AW-02)に追加
建具一覧の移動情報は保持**

同じ引き違いとして反映

追加

* 建具一覧での移動情報は保持され、追加した引き違いは、「AW-02」として追加されます。

● 「建具情報再作成」を実行した場合

記号	数量	建具呼称	名称	見込み	材質	仕上げ	ガラス
AW-01	2	引違16520	引違16520	70	アルミ	7ルマイト処理	FL-6
AW-02	1	引違16511	引違16511	70	アルミ	7ルマイト処理	FL-6
AW-03	1	両開き窓16518	両開き窓16518	70	アルミ	7ルマイト処理	FL-6

**建具一覧の移動情報が初期化され、
記号が変更される**

建具記号変更

同じ引き違いとして反映

追加

* 追加した引き違いは、「同じ内容の引き違い」として追加されますが、建具一覧での移動情報が初期化され、記号が変更されます。

参考：別々の建具として判断される条件

以下の建具情報が異なる設定の建具は、別々の建具とみなされます。

【建具サイズ】 サイズの違いを考慮

- ・ 建具の開口高 h
- ・ 建具の内法幅 w

プロパティ ▼

2000 1100 1820 1650

上端高 開口高h 入力幅 内法幅w

建具名称	引き違い
枚数	2枚
面材	サッシ
メーカー	リジナル
柄名	サッシ
枠形状	四方
枠種類	額縁
ガラス仕様	FL-6
ガラス種類	透明
<input type="checkbox"/> 防火表示の対象に設定する	

<input checked="" type="checkbox"/> 面格子	
種類	縦格子
<input checked="" type="checkbox"/> シャッターボックス	
形状	ボックス型
手動/電動	手動
シャッターボックスの出	150 mm
高さ	240 mm
<input type="checkbox"/> 庇 (勝手口)	
<input type="checkbox"/> 庇 (霧除)	
<input type="checkbox"/> 庇 (現場作成勝手口)	
<input type="checkbox"/> 庇 (現場作成サッシ)	
<input checked="" type="checkbox"/> 戸袋	
設置方向	左
建具から戸袋幅を計算	OFF
戸袋幅	910 mm
<input type="checkbox"/> フラワーボックス	

【プロパティ】 設定内容の違いを考慮

- ・ 建具名称
- ・ 枚数
- ・ 面材
- ・ 柄名
- ・ ガラス仕様
- ・ ガラス種類
- ・ 防火表示の対象に設定する の有無

【窓まわり】 付属品の有無、設定内容の違いを考慮

- ・ 面格子 (ただし、格子種類の違いは考慮しない)
- ・ シャッターボックス (形状・サイズの違いも考慮する)
- ・ 戸袋 (ただし、設置方向の違いは考慮しない)

【参考】

建具情報が異なるものを配置し、後から同じ内容に変更した場合は、「建具情報更新」、「建具情報再作成」のどちらを実行しても、すべて同じ建具として表示されます。